



ゆう

発行／岩国市社会福祉協議会由宇支部
岩国市由宇町中央1-8-35 ☎63-3022
印刷／松井印刷株式会社 岩国市美和町茨前446-3



社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金により作成しています。



老いも若きも
ゆうあい子ども食堂

家族で みかん狩り

岩 国市由宇町にあるみかん農園。この日は、老いも若きもゆうあい子ども食堂の体験プログラム「家族でみかん狩り」が開催されました。

山のふもとにあり、いつもは静かなみかん農園に、この日は家族連れの楽しそうな声が響いていました。このみかん農園には、ちょうど収穫時期のものから、実が青くて収穫にはまだ早いものなど、様々な種類のみかんの木があります。子どもも保護者も、みかん狩りがはじめての方が多く、みかんの種類や切り方、おいしい木の探し方など、家族で学び体験しながらみかん狩りを楽しんでおられました。

みかん狩り

「収穫期を迎えたみかんは全て取らないといけない。だけど、それが大変」

きっかけは古いも若きもゆうあい子ども食堂にみかんを寄付していただいている農家さんの一言でした。

みかんの木はとても繊細で、実を切り落とさず木に付いた状態で放っておくと、その枝は次の年においしいみかんが実らなくなってしまうそうです。広大なみかん畑を農家さんが管理していくのは大変なことで、詳しい話を伺う中で「子ども食堂に参加されているご家族が喜んでもらえるなら取って帰ってもらってもよいし、手伝いにもなるので助かる」というご提案をいただきました。

子ども食堂の参加者にも、家族でみかん狩りのアンケートを実施したところ、「参加したい」、「土日開催して欲しい」、「14時以降希望」など、たくさんのご意見をいただきました。



その後、アンケート結果も参考にしながら、農家さん、子ども食堂の事務局、ボランティアさんなどの関係者で話し合い、11月9日(土)に、子ども食堂の体験プログラム「家族でみかん狩り」を開催することになりました。

当日の天気は秋晴れで、絶好のみかん狩り日和！今回はボランティアさんなどの関係者も含めて28名の方に参加していただきました。

みかん狩りを始める前に、まずは収穫方法の説明です。使う道具は、“はさみ”と“収穫バッグ”の2つで、「2度切り」を行います。



～ みかんの収穫方法 ～

1. 片手でみかんを持ち、実より少し上の枝を切る。
2. みかんが収穫バッグの中で傷つかないように、手元のみかんの残った枝を全て切る。

2度切りをした断面を肌にこすっても痛くないようであれば、収穫完了！お店で並んでいるような“みかん”になります。



カマキリを発見!
枝に擬態していたのかな?



たくさん
収穫できたよ!



老いも若きも
ゆうあい子ども食堂



家族で



説明が終わったら、家族でみかん狩りのスタート!

みかんの木は、実が大きいものから小さいものまで種類が様々で、黄色く熟したものから収穫していきます。

最初は多くの家族が、どの木から収穫するか迷っておられましたが、採ったみかんを試食しながら、お気に入りの木をすぐに見つけておられました。

今回は子ども食堂のボランティアさんにも会場の見守り役として参加していただきました。子どもたちが危険な場所にいかないように見守りながら、「どの木がおいしかったかね」など声かけもされ、子どもたちからおいしい木を教えてもらうなど、参加者との交流も楽しんでおられました。

収穫は1時間を予定していたのですが、時間が過ぎるのはあっという間! たくさんのみかんを持ち帰り用の袋に詰め込んで、皆さん笑顔で持って帰っておられました。

農家さんは「収穫のお手伝いをしていただいたこともですが、皆さんに喜んでもらったのが何よりも嬉しいです」とおっしゃっていました。

参加された家族も「甘くて美味しかったし、収穫の大変さも身を持って学ぶ事が出来ました」、「美味しいみかんをたくさん採れて大満足です。最初は時間が長いと思っていましたが、みかんを採ったり写真を撮ったりしていたら、あっという間でした」と充実した時間を過ごされたようです。

これからも老いも若きもゆうあい子ども食堂では、子どもたちが豊かな体験を通して楽しく学べるような企画にも取り組んでいきたいと思ひます。



由宇町ボランティア連絡協議会

視察研修



11月13日(水)宇部市総合福祉会館にて、「由宇町ボランティア連絡協議会 視察研修」が開催されました。

この視察研修は、先進的なボランティア活動事例を学び、ボランティアの資質向上や団体の枠を超えた交流を深め、自団体の活動にもつなげることなどを目的に由宇町ボランティア連絡協議会が毎年開催されている研修です。

今回は「うべ福祉まつり」をテーマに、宇部市ボランティア連絡協議会の活動を視察するため宇部市を訪問しました。視察先の宇部市ボランティア連絡協議会も、同じボランティア連絡協議会ですが、組織や活動内容にはそれぞれの特長もあるため、はじめに両協議会の会長から活動紹介を行い、情報交換が始まりました。



「うべ福祉まつり」は昭和61年より、ボランティア活動の啓発や、市民やボランティア団体等の交流を通して、地域住民の福祉に対する理解と参加を目的に開催されており、来年3月の開催で第39回目を迎えます。まつりの内容は、ボランティア団体や障がい者団体等によるステージをはじめ、食品販売や遊休品バザー、福祉の相談コーナーなど様々です。

昨年度は「能登半島地震支援活動」をテーマにチャリティー福引きを開催し、募金箱へ寄付をいただいた方に抽選券を配布する、という誰もが福祉の活動に参加しやすいかたちで、支援活動が行われたそうです。

また、宇部市ボランティア連絡協議会は、平成元年より「ボランティアは微笑みから 支え合いみんな一緒に歩こうよ 仲間は宝」を合い言葉に活動をされています。この考えかたは、由宇町ボランティア連絡協議会にとってもボランティア活動を続けていくうえで、とても大切な考え方であり、参加者もその通りとうなずいておられました。

この度は、宇部市ボランティア連絡協議会だけでなく、事務局を務めておられる宇部市社会福祉協議会のご協力もあって、とても充実した視察研修となりました。

／ときわ公園／ 「現代日本彫刻展」 散策

午後からは、宇部市ボランティア連絡協議会の平岡弘子会長に、観光ガイドのボランティアをしていただき、ときわ公園と、公園内で開催されている「UBE BIENNALE (現代日本彫刻展)」の展示を鑑賞しました。

宇部市の歴史から彫刻展の展示内容まで、豊富な知識に基づくガイドは、新たに知ることがたくさんで、とてもわかりやすく、驚きや学びの連続でした。展示されている彫刻は、それぞれがとても個性豊かで、そのひとつひとつに作者の想いが込められており、その想いを知らるとまた違った視点で作品を見ることができました。

散策中はボランティア同士の会話も弾み、交流しながら、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。



第12回

赤い羽根チャリティ グラウンド・ ゴルフ大会



令和6年11月15日(金)、由宇グラウンドで、毎年恒例の赤い羽根チャリティグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

当日の天気は曇りで、運動するにはちょうどよい気温でしたが、天気予報は曇りのち雨。天気が変わる前に始めてしまおうと、挨拶や説明は例年より短縮して進められました。

参加者は由宇町のグラウンド・ゴルフ部に加え、和泉同好会(南岩国)、つつ愛好会(通津)の参加もあり

総勢で61名。由宇グラウンドいっぱい広がって、はじめの掛け声とともに、一斉にスタートしました。

今回集められた募金額は32,150円。本大会は今回で12回目となり、これまでの募金総額は377,744円になります。

集められた募金は、地域団体、ボランティア団体、NPOなどの地域を良くする活動に役立てられます。

由宇町のグラウンド・ゴルフ部は、月～金、8:30から由宇グラウンドで活動されており、お子様と一緒にプレーされる方など、どなたでも参加できます。ご依頼があれば、ふれあいいきいきサロンなどで、室内でのグラウンド・ゴルフ体験も行っておられます。

善意のご芳志

皆さまのご芳志に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。

令和6年9月1日～令和6年11月30日受付分（ご了解を頂いた方のみ掲載しております）

■ 一般寄付

【お金の寄付】

- ハーブの会 様
- 匿名希望 様 1名

【食材の寄付】

- お米 匿名希望 様 1名

【物品の寄付】

- コーヒー 平岡鋭副 様
- 衣類 匿名希望 様 1名
- はがき・切手 匿名希望 様 2名
- 調理用油・生菓子 匿名希望 様 1名
- 手延べそうめん 匿名希望 様 1名
- 自転車 匿名希望 様 1名

■ 香典返し

- (正南) 賀屋明美 様
御主人 賀屋久和 様

ゆうあい子ども食堂へのご支援、ありがとうございました。

■ 指定寄付 (ゆうあい子ども食堂)

【お金の寄付】

- 匿名希望 様 3名

【食材の寄付】

- お米 匿名希望 様 1名
- お肉 (株)ミコー食品 様
- お野菜 賀屋明美 様
松本由美子 様
匿名希望 様 4名

- みかん 匿名希望 様 1名
- ジュース 匿名希望 様 1名
- お菓子 平岡鋭副 様
匿名希望 様 1名
- 方眼ノート・小物入れ等雑貨 匿名希望 様 1名

「皆さまの想いを福祉のまちづくりへ」

「寄付」というカタチの

地域貢献。

善意銀行



「善意銀行」へのご寄付のお願い

書き損じはがきが活用されるまで

01

ご家庭にある書き損じはがきをお持ちください。名前が書かれているなど気になる場合には、気になる箇所をマジックで塗りつぶしていただいても問題ありません。

02

郵便局で新しい切手に交換します。手数料が引かれた分が切手になります。

03

地域のボランティアやサロンの活動に関する書類の発送などに使います。

04

使われた切手と同じ金額が節約されるので、その分は地域の福祉活動で使われる事務用品の購入等の別の事務費に活用します。

書き損じはがきを切手に交換して使うことは、資源の有効活用にもつながります。



書き損じはがき

地域のために役立てませんか

書き損じてしまった年賀はがきなどはありませんか。もう使うことはないからと捨ててしまうのではなく、ご寄付としてお持ちください。地域の福祉活動のために活用させていただきます。

書き損じはがき以外にも、未使用の切手、使う予定のない商品券などの金券も受け付けています。

受付窓口 岩国市社会福祉協議会由宇支部

※ご希望に応じて「社協だより」に寄付者のお名前を掲載させていただきます。

相談料無料

福祉相談
のご案内

【お問い合わせ・ご予約】
岩国市社会福祉協議会
由宇支部 ☎63-3022

弁護士 無料法律相談
〔要事前予約〕

相談日

1月28日(火)
3月25日(火)
10:00～12:00

〔会場〕 岩国市社会福祉協議会由宇支部

補聴器相談

相談日

3月4日(火)
9:30～12:00

〔会場〕 岩国市社会福祉協議会由宇支部

人権・心配ごと・行政相談

相談日

2月4日(火)
9:30～12:00

〔会場〕 由宇文化会館